

栄支部長 小 泉 深雅子 (S56 卒)

友松会栄支部の様子を紹介します。栄区は横浜市の南西にあり鎌倉市に隣接しています。1986年に戸塚区から分かれて今年で30年となります。昨年の10月から来年の3月まで、区制30周年を祝う計画を進めています。2013年にはWHO(世界保健機関)協働センターから国際基準に基づき、「セーフコミュニティ」の国際認証を取得し、地域ぐるみで安全・安心なまちづくりの活動を継続して行っています。少子高齢社会での暮らしやすいまちづくり、元気な「さかえっ子」を育てるための支援、など子どもの笑顔あふれるコミュニティーを目指して、自治会・町内会を中心とした地域活動が活発に行われています。



友松会会長を囲んで

また、いたち川が区内を横断しており、その両側には遊歩道が整備されていて、散歩をしたり、バードウォッチングをしたり、カメラを構えている人や時には釣りをしている人を見かけます。このいたち川を区のシンボルと捉え、1988年には区内在住者から募集して、オーケストラと合唱

団による交響詩として編曲された3種類の「栄区賛歌」ができました。「こどものための栄区賛歌」では《～ぼくらは生きるこの町で 川のある町で～》という歌詞が印象的です。また、いたち川にちなんで栄区のマスコットは【いたっちー】です。区内の様々なイベントに登場して子どもからお年寄りまで笑顔にしてくれます。緑が多く、元気な高齢者が多い街です。



総会参加者全員写真

現在栄区には、小学校が14校、中学校が6校、特別支援学校が1校あります。OB会員84名、現役会員80名で、友松会会長の芦川先生の所属している支部です。なかなか国大卒の新採用者が入ってこない現状ですが、今年は7月22日の金曜日に芦川会長をはじめ、S23卒からH25卒までの会員が集い、支部総会を行いました。先輩方の貴重なお話を聞いて、現役会員は元気をたくさんいただきました。先輩方を見習って、自信をもって子どもの前に立てるように頑張ります。